

令和2年6月11日

会員各位

理振協会で開催している理科教育設備整備に関する  
充足調査への協力について(お願い)

事務局長 塚越 博

入梅の候、先生方におかれましては未曾有のコロナ禍の中ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

本来であれば、今年度は熊本で全国理科教育大会を開催する予定でしたが、来年8月に実施し、今年度は2020誌上研究発表大会を開催いたします。

従来の全国大会では、総会に先立ち日本理科教育振興協会の石崎常務理事より、理科教育に欠かせない観察・実験に必要な機器の整備・充実に関するお話を頂いておりました。

理科教育において、生徒たちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、観察・実験が重要な役割を果たしていることは論を俟ちません。これらの観察実験機器の整備には国庫補助金があてがわれています。この国庫補助金をより有効に使うために、現在の教育現場には、どのような機器があるかを調べ、どのような機器が必要であるかを調査した上で、より効果的に整備をする必要があります。理振協会は、観察実験機器の整備においても教育現場に大きな力を与えてくれます。個人的な経験になりますが、化学を担当していた頃、生徒実験で理振のシールが貼ってあった機器を使用したことを思い出します。

理科教育における観察実験機器を充実させるためにも、実際にそれぞれの学校にあるものを調査する必要があります。先生方もぜひこの充足調査にご協力をお願いします。

調査用紙は各都道府県支部の事務局にメールでお送りいたします。また、日本理化学協会のホームページにも載せておきます。観察実験機器の整備のため先生方のご協力をお願い致します。

以上